

# 56 | 2QIR

# 56 | 2QIR

## 株式会社アルトナー

### 第56期 IRレポート【第2四半期累計期間】

2017年2月1日～2017年7月31日

証券コード：2163

#### 特集：エンジニア白書（アルトナー技術者アンケート結果より）



— Create the Future —

# ARTNER

#### 株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日、7月31日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
公告掲載方法	電子公告によりホームページ( <a href="http://www.artner.co.jp/">http://www.artner.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### 『IRメール配信』サービス



↑ QRコードから  
アクセス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の更新、決算、ニュースリリース、その他、重要事項の最新情報を、Eメールにて配信いたします(無料)。

下記URLまたはQRコードからサイトにアクセスしてご登録ください。

<http://www.artner.co.jp/ir/mail/>

#### 当社のIR活動が表彰を受けました！

日興アイ・アール株式会社  
**2016年度全上場企業  
ホームページ充実度ランキング**  
●総合ランキング「最優秀サイト」  
●業種別ランキング「優秀サイト」(サービス業2位)  
●新興市場ランキング「最優秀サイト」(1位)



企業ホームページ  
最優秀サイト

2016  
日興アイ・アール  
総合ランクイン

ゴメス・コンサルティング株式会社  
**Gomez IRサイト  
ランキング2016**  
●総合ランキング「優秀企業」「銀賞」(51位)  
●業種別ランキング「サービス業4位」  
●新興市場ランキング(2位)



IRサイト  
総合ランクイン

銀賞

2016年10月

Gomez  
新興市場  
第2位  
2016年10月

#### ウェブサイト／投資家情報のご紹介

<http://www.artner.co.jp/>  
アルトナー 検索



▲トップページ



▲投資家情報 (トップページ▶投資家情報)

エンジニアインタビュー等  
動画ならではの当社情報を配信中！



▲<https://www.youtube.com/> より

アルトナー公式 検索

## 株式会社アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F  
大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル2F

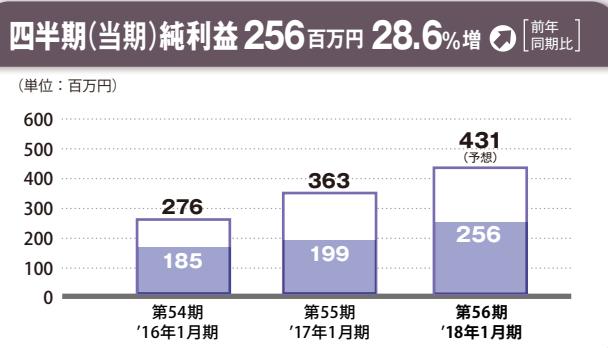
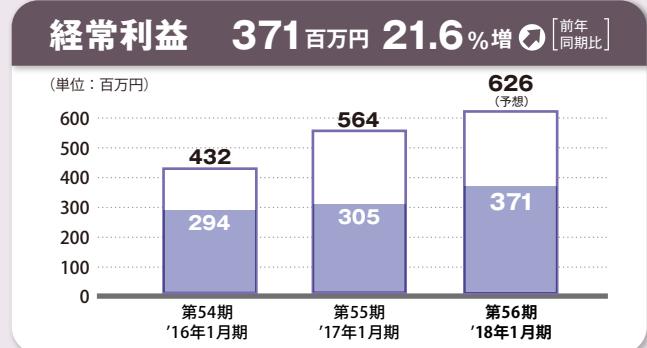
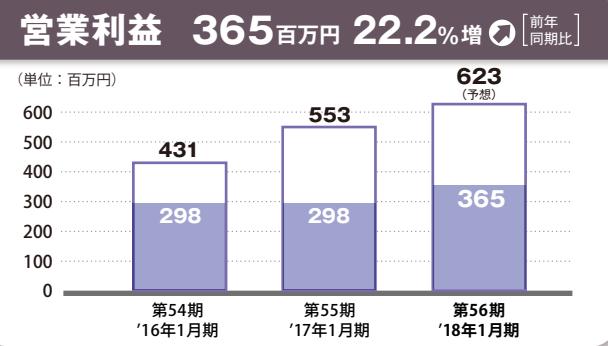
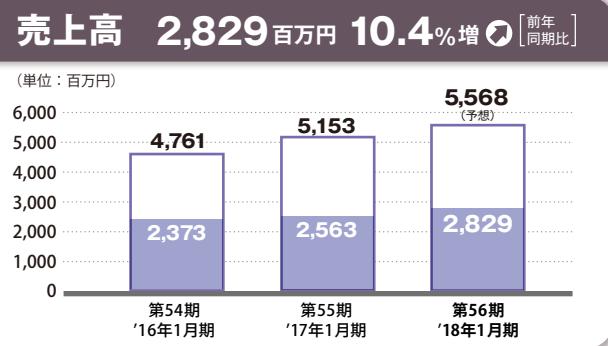


## 第56期 第2四半期 業績ハイライト

通期

第2四半期累計期間

※百万円未満を切り捨てています。



ROE(自己資本当期純利益率)他 経営指標に関する詳細は ▶アルトナーサイトTOP ▶投資家情報 ▶業績・財務情報 ▶主な経営指標を参照

### 第56期 第2四半期 分野別売上高(※)

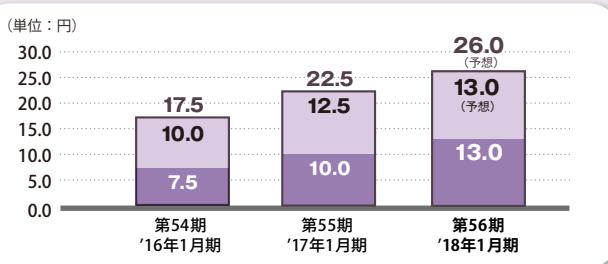
(単位：百万円)



**機械設計開発**  
売上高 1,117百万円  
(構成比 39.6%)  
**電気・電子設計開発**  
売上高 978百万円  
(構成比 34.7%)  
**ソフトウェア開発**  
売上高 727百万円  
(構成比 25.8%)

### 配当金推移

□ 年間 ■ 中間 □ 期末



※「その他」売上除く

※2017年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
当該株式分割に伴う影響を加味し、「17年1月期以前は、遅延修正を行った場合の  
「配当金」を表記しております。

## Top Commitment

4期連続の通期での増収・増益、  
最終年度を迎えた中期経営計画の達成に向け、  
下期も「技術者数の回復」に取り組みます。

第56期(2018年1月期)第2四半期累計期間の業績及び、  
中期経営計画(第54期～第56期)について、ご説明させていただきます。

代表取締役社長 久口 相三



### 第56期(2018年1月期)第2四半期累計期間の市場環境

輸送用機器分野が継続して景気を牽引。  
IoT等インフラ整備の関連分野でも  
技術者要請が継伸。

当社を取り巻く市場環境は、第55期(2017年1月期)に引き続き、完成品である自動車を中心に、自動車に搭載される様々な自動車部品、先進安全自動車(ASV)に関連するシステム開発、自動運転の実現に向けた道路のIoTを含むインフラ整備など、輸送用機器分野の設計開発に関する技術者の要請が好調でした。その状況を受けて、ソフトウェア開発の技術者に対する要請が、顕著な伸びを示しました。

### 第56期(2018年1月期)第2四半期累計期間の業績概要

技術者単価と稼働人員の増加により、  
引き続き、前年対比・増収・増益。

当社の技術者に対する顧客企業からの評価を積み重ねて来た結果、2017年4月入社の新卒技術者の初配属単価が上昇し、全体の技術者単価が増加。また、新卒技術者の配属が計画対比で、前倒しで進捗したことにより、稼働人員も大幅に増加しました。

その結果、第56期(2018年1月期)第2四半期累計期間の業績は、売上高2,829百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は365百万円(前年同期比22.2%増)、経常利益は371百万円(前年同期比21.6%増)、四半期純利益は256百万円(前年同期比28.6%増)と、引き続き増収・増益になりました。

## トップコミットメント



第56期（2018年1月期）の業績予想

### 上期の増収・増益基調を継承し、 通期も順調に推移する見通し。

自動車関連業界やIoT業界が景気の牽引役となり、上期の増収・増益基調をそのまま継承して、通期も順調に推移すると予測されます。一方、米国の政策の動向、英国のEU離脱問題の動向、中国経済を含むアジア新興国等の海外経済の影響、国内の政治状況の変化による景気への影響も懸念材料として、注視が必要な状況です。

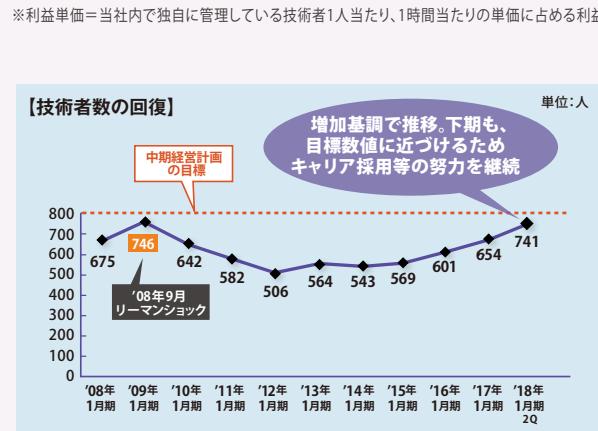
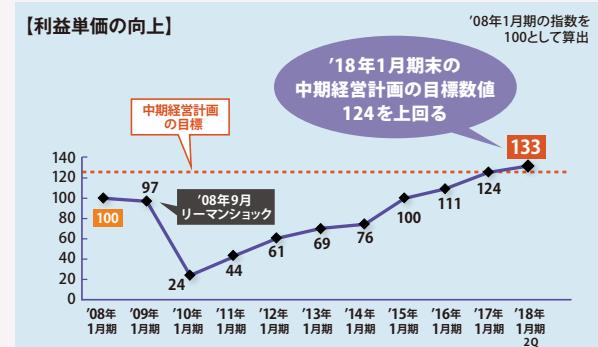
中期経営計画（2016年1月期～2018年1月期）の基本目標の進捗

### 『利益単価の向上』は前倒しで目標達成、 『技術者数の回復』は下期も目標達成に向け努力を継続。

第56期（2018年1月期）に最終年度を迎える中期経営計画では、『利益単価の向上』と『技術者数の回復』の2つの基本目

標を掲げ、その達成により、売上高60億円、営業利益率10%が確保できるよう取り組んでまいりました。

『利益単価の向上』に関しては、前倒しで目標達成し、上積みに努めており、その結果、営業利益率は、目標値（10%）を上回る見込みです。『技術者数の回復』は800人規模の目標に対して、上期（2017年7月末現在）で741人という状況です。下期も、1人でも目標数値に近づける努力を継続してまいります。



キャリア採用に関しては、非常に採用環境は難しいですが、ポスドク採用も含めて、目標達成に向け推進しております。定着率に関しては、この中期経営計画の中で、技術者の報酬が上がり、技術者にとって成長期待の持てる魅力あるプロジェクトがさらに増えてきており、改善傾向にあります。

### 今後の取り組み、新中期経営計画の策定

### 「学生に選ばれる企業」が目標。 多様化する人材が活躍できる環境整備を推進。

技術者派遣業界においては、労働人口の減少により採用は学生の売り手市場が続いております。当社は、「学生に選ばれる企業」になるため、今後も学生のニーズを最大限くみ取り、共感いただける体制を組み立てまいります。顧客企業から、研究開発及び上流工程のプロジェクトへの要請が拡大してきたことを受けて、工学部の学生にプラスして、数学、物理を専攻した理学部の学生にまで枠を広げた採用を強化してまいります。また、採用活動の補完的意味も含めて、関東、中部、関西以外のエリアの配属先の確保のため、顧客開拓を強化しており、成果が出ております。

3ヶ年の新中期経営計画（2019年1月期～2021年1月期）の策定を進め、顧客企業のニーズや、上流から下流まで広域化している業務領域の多様性に対応するため、マーケットに見合った採用・教育を行うことで、顧客企業に対し、マッチングの精度の高い技術者の供給を実現してまいります。また少子高齢化に順応した事業モデル構築も課題として掲げ、請負・受託事業へのウェイトを高めるなど、多様化する人材（外国人、シニア層、子育てに一区切りがついた女性）が活躍できる環境整備を行い、事業スケールの拡大を目指してまいります。



投資家の皆様へ

### 今後も増収・増益を継続し、さらなる成長に向け、 社員一同、努力と前進を継続。

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

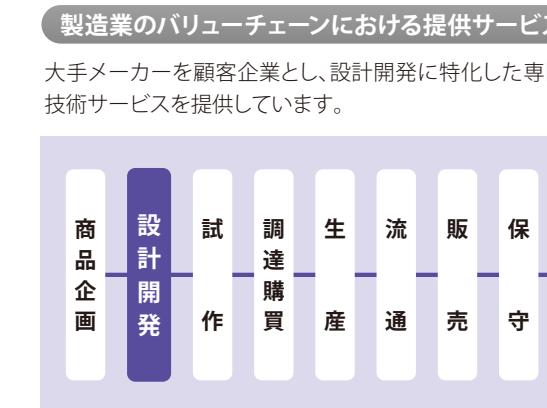
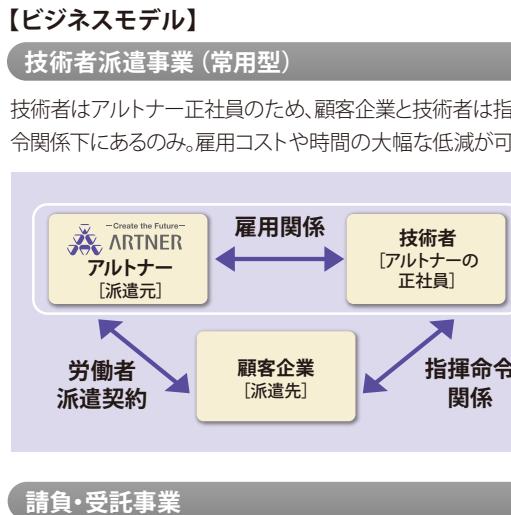
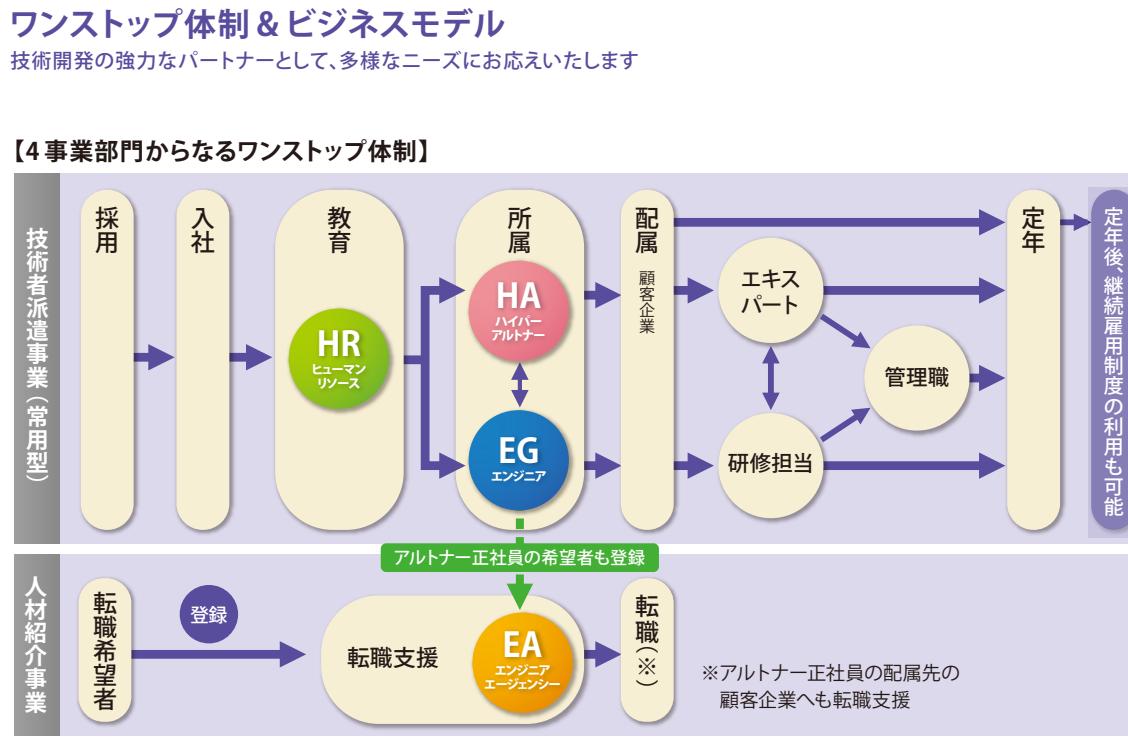
おかげさまで当社は、2017年9月18日に会社設立55周年を迎えることができました。

時代の変化が著しい中、今後も柔軟かつ機敏な対応が求められており、当社は引き続き、ニーズに即した戦略の立案、社内体制づくり等、さらなる成長に向けて一層の努力を重ねてまいります。

当社では株主・投資家の皆様に、安定的な配当を実施することを、経営の最重要課題と位置づけており、第56期の配当は、中間配当13円、期末配当13円、合計26円を予定しております。（株式分割前換算では、中間配当26円、期末配当26円、合計52円となり、実質7円増配）

今後も、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

## One-stop System & Business Model

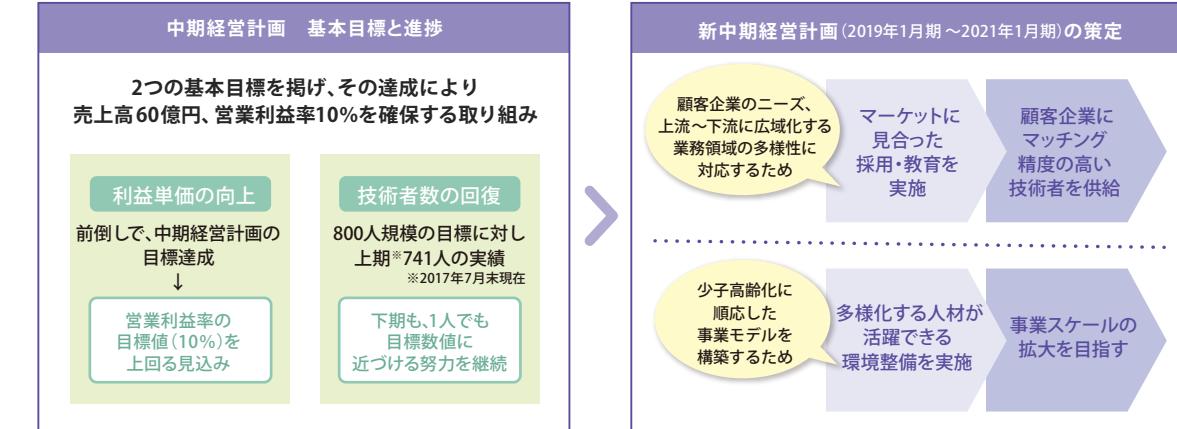


Business Project Review & Engineer Blog

中期経営計画の進捗

(2016年1月期 ▶ 2018年1月期)

\*詳細はアルトナーサイトTOP▶投資家情報▶経営方針▶中期経営計画参照



理学部出身の技術者が力を発揮できる  
プロジェクトへのニーズが拡大中！

理学部(物理・数学専攻)出身の  
2017年新卒技術者3名のブログを公開中。

近年、顧客企業からAI関連等の研究開発、上流工程のプロジェクトへの技術者の要請が増加しています。それを見て当社では、工学部の学生にプラスして理学部(物理・数学専攻)の学生まで枠を広げ、戦略的な採用を実施しております。

理学部出身の技術者は、設計開発の専門科目を履修していないが、「モノが動くため」に発生する力(Force)の原理・原則については、既に理解できている状態で、入社後の社員研修で設計開発のスキルを付加することで、よりハイレベルな開発フィールドで活躍することが期待されています。

今回は、理学部出身の新卒技術者3名が、多くの不安を抱えていた入社時から、基礎研修、応用研修を経てスキルと自信を身に付けて、顧客企業への配属に近づいていくプロセスをブログと動画で紹介しています。



4月～6月にかけて配信した新卒技術者3名のブログ。  
<http://www.artner.co.jp/engineerblog/>



様々な研修を経験しながら  
確実にスキルを身に付けて  
行く新卒技術者。  
そのプロセスをブログと  
動画でご確認ください。

## エンジニア白書（アルトナー技術者アンケート結果より）

当社では設立55周年を機に、技術者の考え方や意識の傾向を知り、情報を共有するために、アンケート※を実施しました。  
寄せられた回答の中から、一部をご紹介いたします。

※アンケートは、2017年7月実施。（複数回答）は回答として選択された上位の項目。（自由回答）は、回答の中からピックアップして掲載しています。

### アルトナーへの入社の決め手 (複数回答)

-  ①幅広い経験が積める
-  ②設計開発の業務に携われる
- ③複数の顧客企業で働く

- ④さまざまな製品に携われる
- ⑤正社員雇用
- ⑥転職支援制度
- ⑦教授の推薦
- ⑧教育・研修体制
- ⑨自分の知識や経験が生かせる
- ⑩採用担当者の人柄

### スキルアップのためにしてること (複数回答)

-  ①業務の中でスキルを磨く
-  ②WEBなどで情報収集と独学
-  ③専門書や雑誌で情報収集と独学
-  ④社内の勉強会に参加
-  ⑤毎日、家で時間を見つけてコツコツ勉強

### アルトナーに入社して成長したと感じるコト (自由回答)

CAD技術	落ち込まない力	プログラミング能力	コミュニケーション能力
自信	設計力	専門知識	論理的思考
社会人のルール	責任感	難易度の高いことへの向き合い方	広い視野
リーダーシップ	工数・納期への意識	身だしなみ	忍耐力

### 自分の性格 (複数回答)

-  ①マイペース
-  ②真面目
-  ③慎重
- ④無口
- ⑤協調性
- ⑥ポジティブ思考
- ⑦打たれ強い
- ⑧ノリが良い
- ⑨せっかち
- ⑩柔軟
- ⑪明るい
- ⑫向上心が高い

### アルトナーの先輩の尊敬しているところ、目標にしたいところ (自由回答)

- いつも元気である
- 改善策をすぐ思いついで、提案できるところ
- どんな時でも堂々としている
- 仕事を真摯に向き合ふけれど、決して深刻になりすぎない姿勢
- 仕事をひとりひとりしっかりと見ていた
- 親しみやすさ・相談しやすさ・頼もしさ
- 人の心に訴えかける話し方ができる
- 専門知識が豊富なところ
- 技術力・営業力共に持ち合わせているところ
- 時間の管理の仕方
- さまざまな分野の話に対応できる

### 業務の中でやりがいを感じる時 (設計分野別) (自由回答)

 機械設計開発	・文書の設計者欄に自分の名前が載った時 ・新技術に着手し、成果を収めた時 ・設計した車を街で見かけた時 ・困難な仕様がカタチになった時 ・口座に給料が振り込まれた時 ・プロジェクトに必要不可欠な存在と認められた時
 電気・電子設計開発	・新しい知識を得た時 ・開発機種が量産された時 ・人から感謝された時 ・壁にぶち当たった時 ・効率の良い作業方法を見つけた時 ・トライアル＆エラーによって進捗が値として表れた時 ・構想設計したものがサンプルで手元にきた時
 ソフトウェア開発	・ひらめきが物事の解決につながった時 ・今までの業務の一歩先の業務に携われた時 ・上司や先輩に褒められた時 ・業務を行うグループにて自分にしかできないことができた時 ・自分のプログラムが正常に動いた時 ・他の設計者に頼られた時

### 設立55周年記念サイトを公開しました

<http://www.artner.co.jp/55anniversary/>

今回紹介した他のアンケートサマリーも上記サイト内の「エンジニア白書」で紹介しております。また、アルトナーの沿革をミニムービーにまとめた「55年の歩み」も公開しておりますのでぜひ、アクセスしてみてください。

# 要約財務諸表

貸借対照表(要旨)		
科 目	第55期末 前事業年度末 2017年1月31日現在	第56期 当第2四半期会計期間末 2017年7月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,061	2,319
固定資産	228	258
有形固定資産	79	83
無形固定資産	25	39
投資その他の資産	124	136
<b>資産合計</b>	<b>2,289</b>	<b>2,578</b> <small>ポイント①-Ⓐ</small>
<b>負債の部</b>		
流動負債	477	539
固定負債	196	231
<b>負債合計</b>	<b>673</b>	<b>771</b> <small>ポイント①-Ⓑ</small>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,613	1,803
資本金	238	238
資本剰余金	168	168
利益剰余金	1,206	1,396
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	3	3
その他有価証券評価差額金	3	3
<b>純資産合計</b>	<b>1,616</b>	<b>1,806</b> <small>ポイント①-Ⓒ</small>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,289</b>	<b>2,578</b>

## POINT

### ポイント① 貸借対照表

- Ⓐ 総資産は、売上債権、現預金の増加により、前事業年度末に比べ288百万円増加。
- Ⓑ 負債は、預り金、退職給付引当金の増加により、前事業年度末に比べ98百万円増加。
- Ⓒ 純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ190百万円増加。

### ポイント② 損益計算書

- Ⓐ 売上高は、2017年4月に前年を上回る新卒技術者が入社し、計画より前倒しで配属が進捗したことにより、稼働人員が前年同期を上回り、また、技術者単価が、前年同期を上回ったことにより、前年同期比10.4%増の2,829百万円。
- Ⓑ 利益面においては、売上高の増加に加え、稼働率が高水準で推移した影響もあり、営業利益は前年同期比22.2%増の365百万円、経常利益は前年同期比21.6%増の371百万円、四半期純利益は前年同期比28.6%増の256百万円。

損益計算書(要旨)		
科 目	第55期 前第2四半期 累計期間 2016年2月1日から 2016年7月31日まで	第56期 当第2四半期 累計期間 2017年2月1日から 2017年7月31日まで
売上高	2,563	2,829 <small>ポイント②-Ⓐ</small>
売上原価	1,638	1,758
売上総利益	924	1,071
販売費及び一般管理費	625	705
<b>営業利益</b>	<b>298</b>	<b>365</b> <small>ポイント②-Ⓑ</small>
営業外収益	6	6
営業外費用	0	0
<b>経常利益</b>	<b>305</b>	<b>371</b> <small>ポイント②-Ⓑ</small>
税引前四半期純利益	305	371
法人税、住民税及び事業税	109	128
法人税等調整額	△3	△14
<b>四半期純利益</b>	<b>199</b>	<b>256</b> <small>ポイント②-Ⓑ</small>

キャッシュ・フロー計算書(要旨)		
科 目	第55期 前第2四半期 累計期間 2016年2月1日から 2016年7月31日まで	第56期 当第2四半期 累計期間 2017年2月1日から 2017年7月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	17	198 <small>ポイント③-Ⓑ</small>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12	△25 <small>ポイント③-Ⓒ</small>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52	△66 <small>ポイント③-Ⓓ</small>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△47	107
現金及び現金同等物の期首残高	1,301	1,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,253	1,480 <small>ポイント③-Ⓐ</small>

POINT		
ポイント③ キャッシュ・フロー計算書		
Ⓐ 当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ107百万円増加。		
Ⓑ 営業活動CFは、売上債権の増加、法人税等の支払があったものの、税引前四半期純利益があったことにより、198百万円のプラス。		
Ⓒ 投資活動CFは、無形固定資産の取得による支出により25百万円のマイナス。		
Ⓓ 財務活動CFは、配当金の支払により、66百万円のマイナス。		

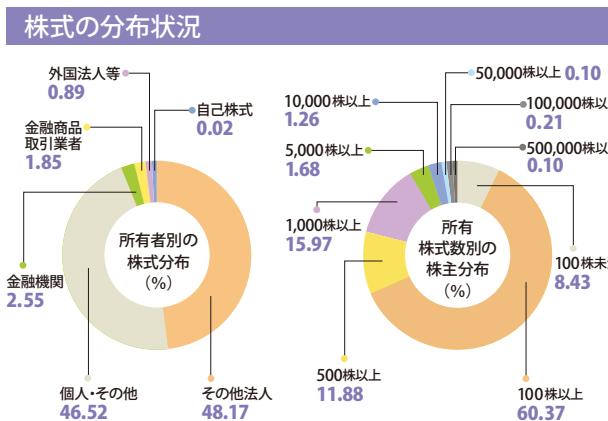
※百万円未満を切り捨てています。

# 会社・株式情報 (2017年7月31日現在)

<b>会社概要</b>	株式会社アルトナー 1962年9月 代表取締役社長 関口 相三 株 式 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード) (証券コード:2163) 資 本 金 2億3,828万4,320円 本 社 東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F 大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル2F	事業内容 1)機械設計 2)電気・電子設計 3)ソフトウェア開発 上記分野の設計製作及び設計技術周辺業務
社 員 数 827名 許可番号 労働者派遣事業(常用型、登録型) (許可番号 派27-020513) 有料職業紹介事業(許可番号 27-ユ-020355)		

役員一覧	
代表取締役社長	関口 相三
取 締 役 奥坂 一也	
取 締 役 張替 朋則	
取 締 役 江上 洋二	
取 締 役 佐藤 宗	
取締役(常勤監査等委員) 三谷 高昭	
取締役(監査等委員) 金井 博基	
取締役(監査等委員) 福室 孝三郎	

株式の状況		
発行可能株式総数	18,000,000 株	
発行済株式の総数	5,313,960 株	
株主数	1,910人	



大株主の状況		
氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)
株式会社関口興業社	2,310,000	43.47
アルトナー従業員持株会	643,124	12.10
大阪中小企業投資育成株式会社	240,000	4.51
張替 朋則	145,120	2.73
奥坂 一也	137,440	2.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	103,900	1.95
横田 成昭	80,000	1.50
江上 洋二	50,776	0.95
アルトナー役員持株会	43,100	0.81
上野 修	40,000	0.75
合計	3,793,460	71.38